

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月24日

下関市長 殿

提出者

住 所 山口県下関市菊川町田部夢団地1番

氏 名 やまぐち県酪乳業株式会社

代表取締役社長 河口浩己

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 083-288-0532

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	やまぐち県酪乳業株式会社
事業場の所在地	山口県下関市菊川町田部夢団地1番
計画期間	令和6年(2024年)4月1日～令和7年(2025年)3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	牛乳・乳飲料・デザート製造、販売
② 事業の規模	製品出荷額 約85億円/年
③ 従業員数	約150人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	製品工程フロー図 廃棄物処理フロー図 別紙添付

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙添付			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	排出量	18,365 t	503 t
	(これまでに実施した取組) 1) 排水負荷の低減 2) 脱水機から出る脱水汚泥の含水率を下げる 3) 可能な限り、使用できる製品は再生利用する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	排出量	20,000 t	900 t
	(今後実施する予定の取組) 1) 排水負荷の低減 2) 製品廃棄の削減		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	602 t	t
	(これまでに実施した取組) 1) バイオマスプラントに投入する希釈水として利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	700 t	t
	(今後実施する予定の取組) 1) バイオマスプラントに投入する希釈水として利用		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	動植物性残渣
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	17,384 t	475 t
(これまでに実施した取組) 1) 脱水機の清掃を頻繁に行い、脱水汚泥の含水率を下げる 2) バイオマスプラントの安定運転を行い、廃棄物を削減する			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	動植物性残渣
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	18,000 t	900 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	その他別紙欄
	全処理委託量	651 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	651 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 1) 脱水機の清掃を頻繁に行い、脱水汚泥の含水率を下げる 2) バイオマスプラントの安定運転を行い、廃棄物を削減する		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	その他別紙欄
	全処理委託量	1,000 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,000 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 1) 脱水機の効率の良い運転 2) バイオマスプラントの安定運転 3) 排出した脱水汚泥を堆肥を作る原料の発酵促進剤として利用する		
※事務処理欄			

別紙欄

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず
全処理委託量	26 t	10 t
優良認定処理業者への処理委託量	26 t	t
再生利用業者への処理委託量	t	10 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
1) 分別を徹底する

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず
全処理委託量	35 t	50 t
優良認定処理業者への処理委託量	35 t	t
再生利用業者への処理委託量	t	50 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

- 1) 分別の徹底
- 2) 瓶製品から紙パック製品への切り替え

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図

a. 責任者

担当責任者 : 製造部長 住吉 和之

廃棄物担当 : 環境施設課 課長 横山 誠一

人員 : 3名 (環境施設課)

b. 役割

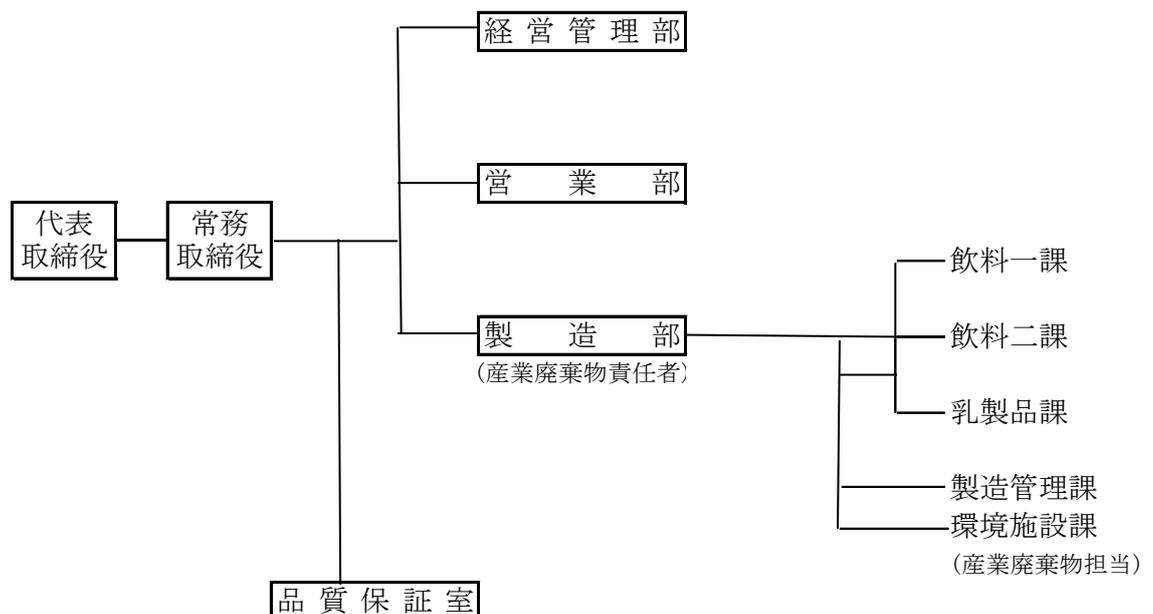
担当責任者

- 産業廃棄物処理方針の策定
- 製造工程等での廃棄物減量の策定
- 廃棄物処理に関する各種事項の決定

廃棄物担当

- 廃棄物処理計画作成と実施状況の検証
- 廃棄物管理状況と改善策の検討
- 廃棄物処理施設運転状況の把握
- 処理委託業者の調査、選定
- マニフェストの管理
- 監督官庁への各種報告
- 従業員に対する教育
- その他必要な事項

c. 組織図



多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(令和6年度計画)

別紙1-1

多量排出事業者 名称	やまぐち県酪乳業株式会社	所在地(市町名)	下関市 菊川町	事業の種類	牛乳・乳飲料・デザート の製造、販売
------------	--------------	----------	------------	-------	-----------------------

(単位:トン)

区分	種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
産業廃棄物	燃え殻																					
	汚泥	18,365	20,000					17,384	18,000			651	1,000			651	1,000					
	廃油	0	1									0	1			0	1					
	廃酸	0	1									0	1	0	1							
	廃アルカリ																					
	廃プラスチック類	26	35									26	35	26	35							
	紙くず																					
	木くず	2	1									2	1	2	1							
	繊維くず																					
	動植物性残さ	503	900					475	900			28	40			28	40					
	動物系固形不要物																					
	ゴムくず																					
	金属くず	0	1									0	1			0	1					
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	10	50									10	50			10	50					
	銲さい																					
	がれき類																					
動物のふん尿																						
動物の死体																						
ばいじん																						
13号廃棄物																						
計 (A)		18,906	20,989	0	0	0	0	17,859	18,900	0	0	717	1,129	28	37	689	1,092	0	0	0	0	

廃棄物処理フロー図

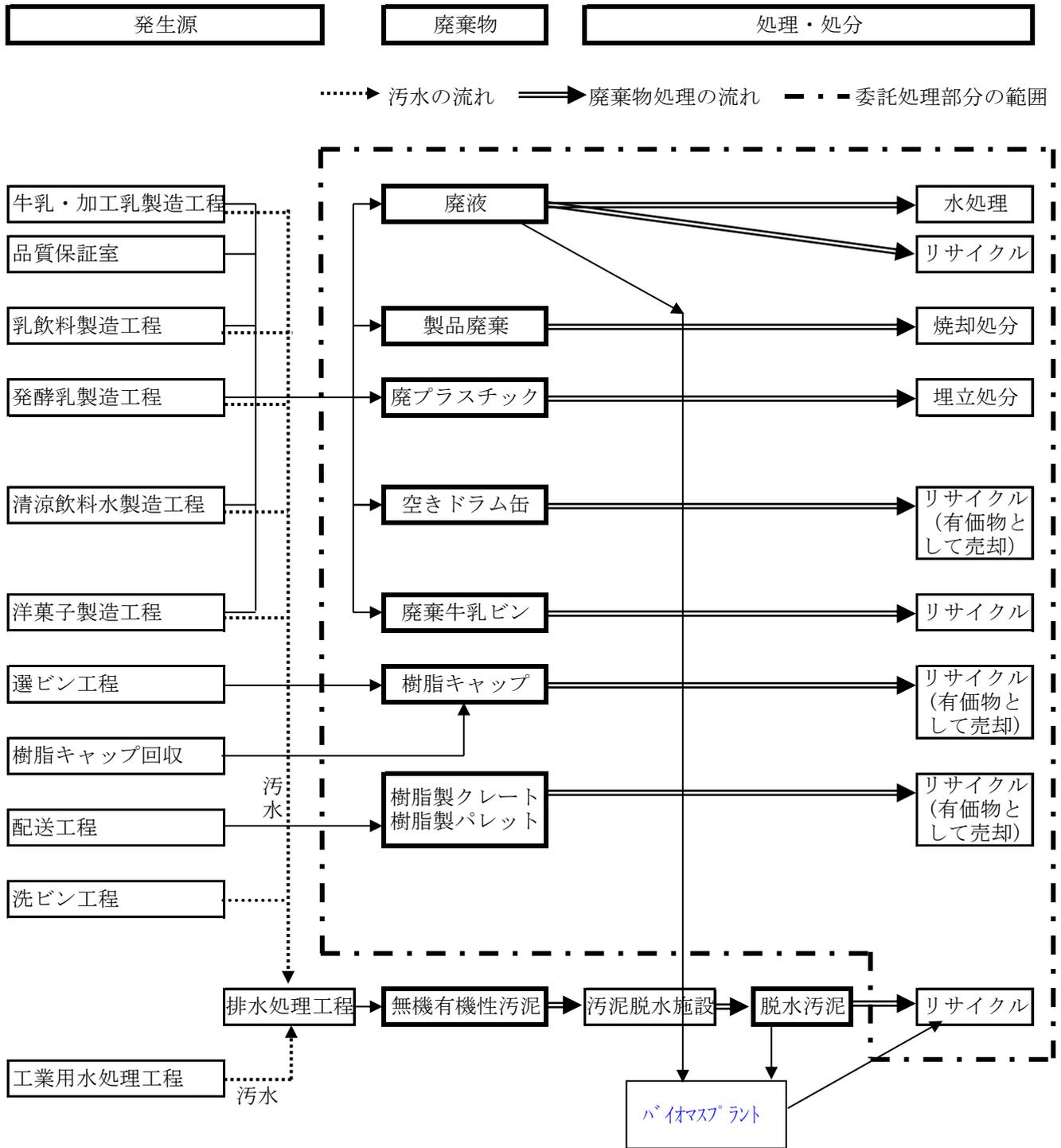


図1 牛乳・加工乳製造フローシート

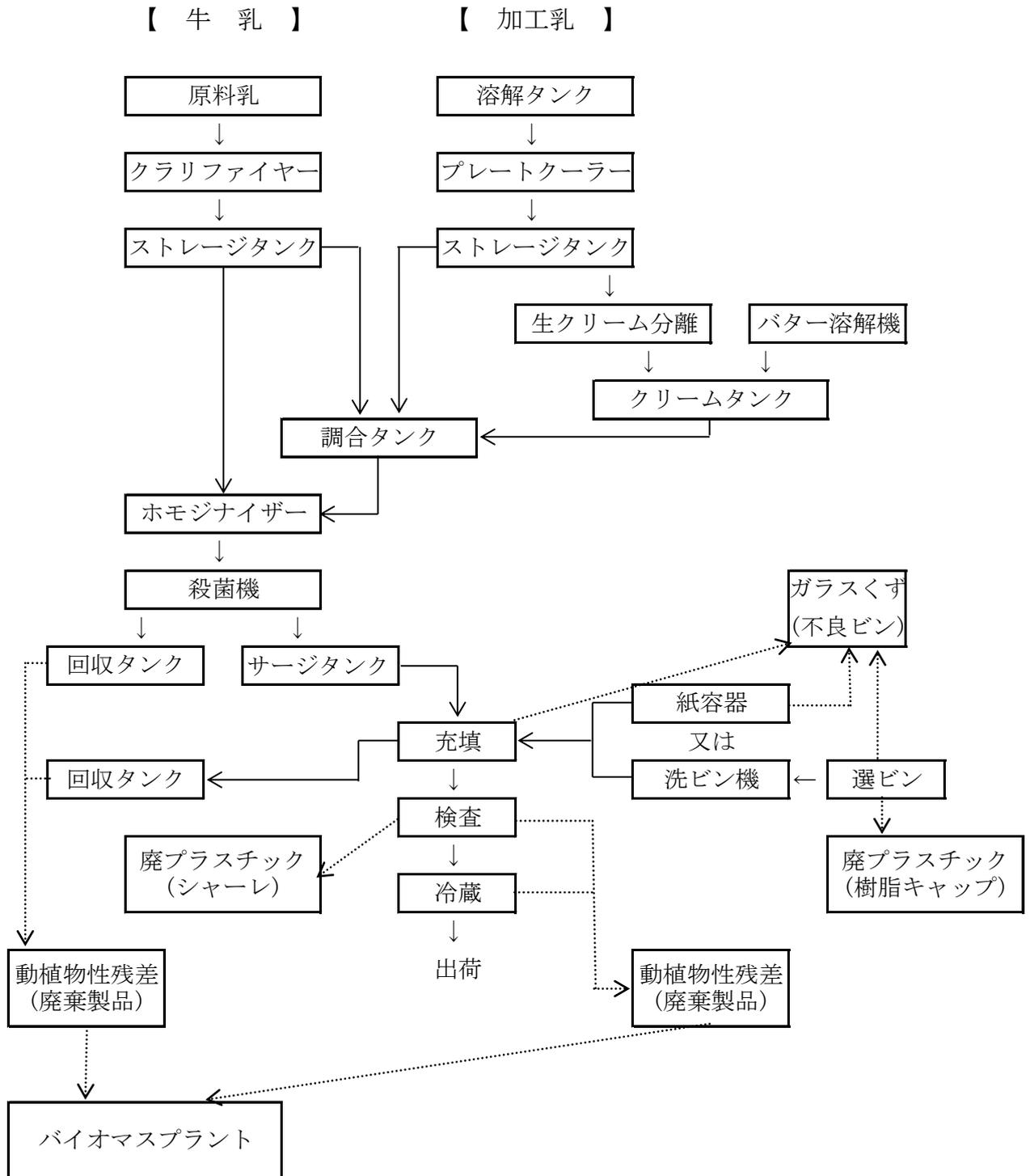


図4 清涼飲料

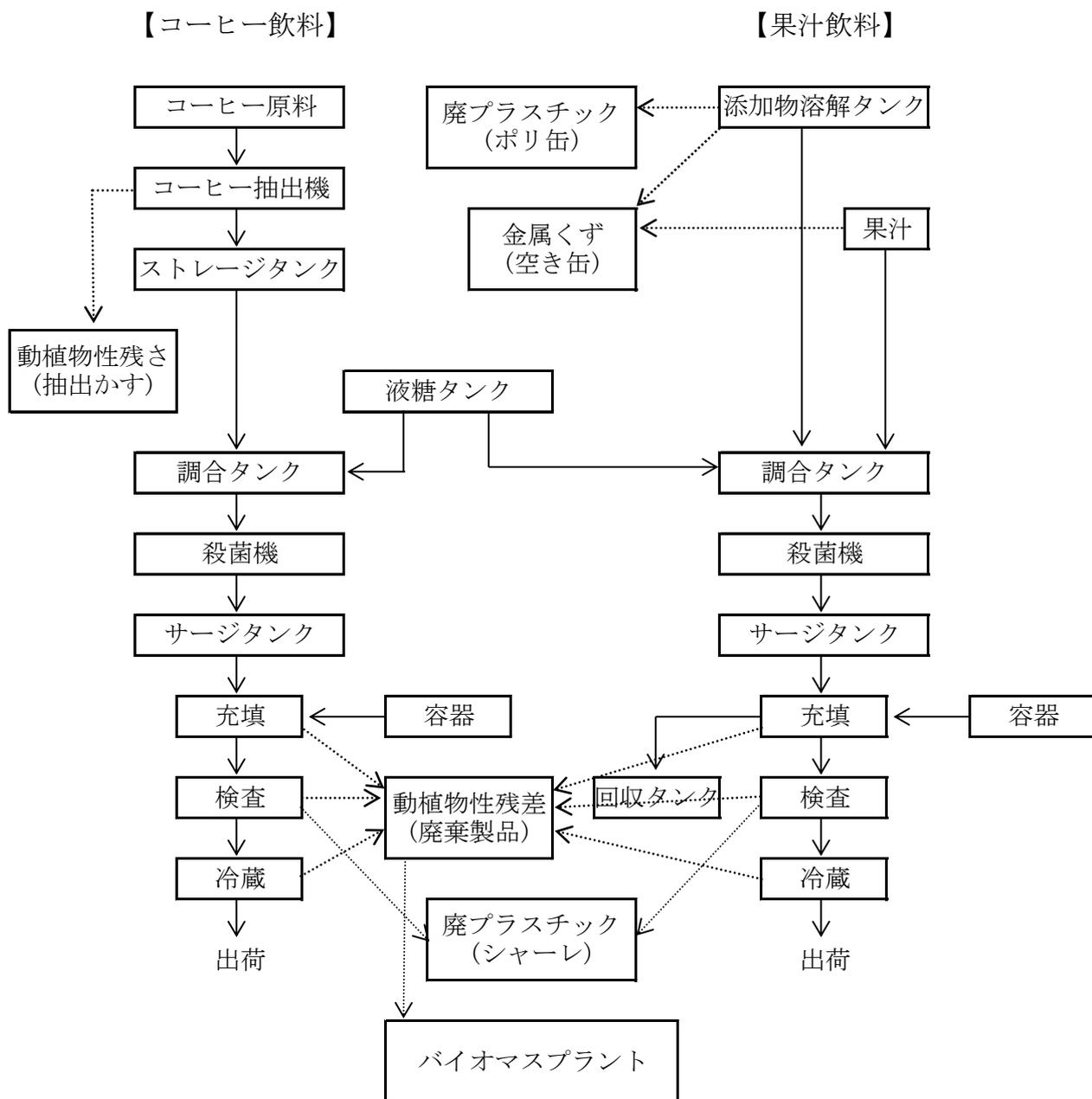


図2 乳飲料製造フローシート

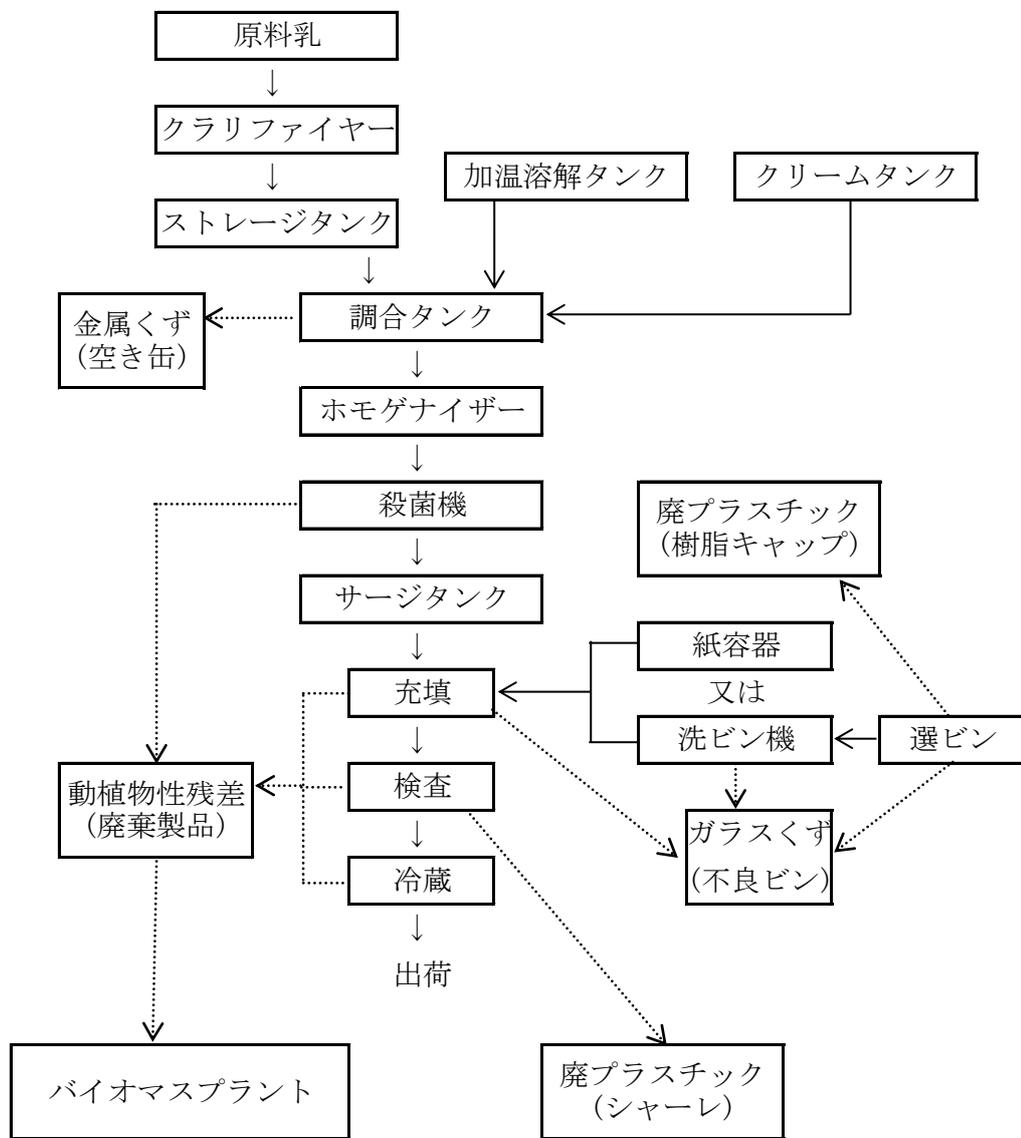
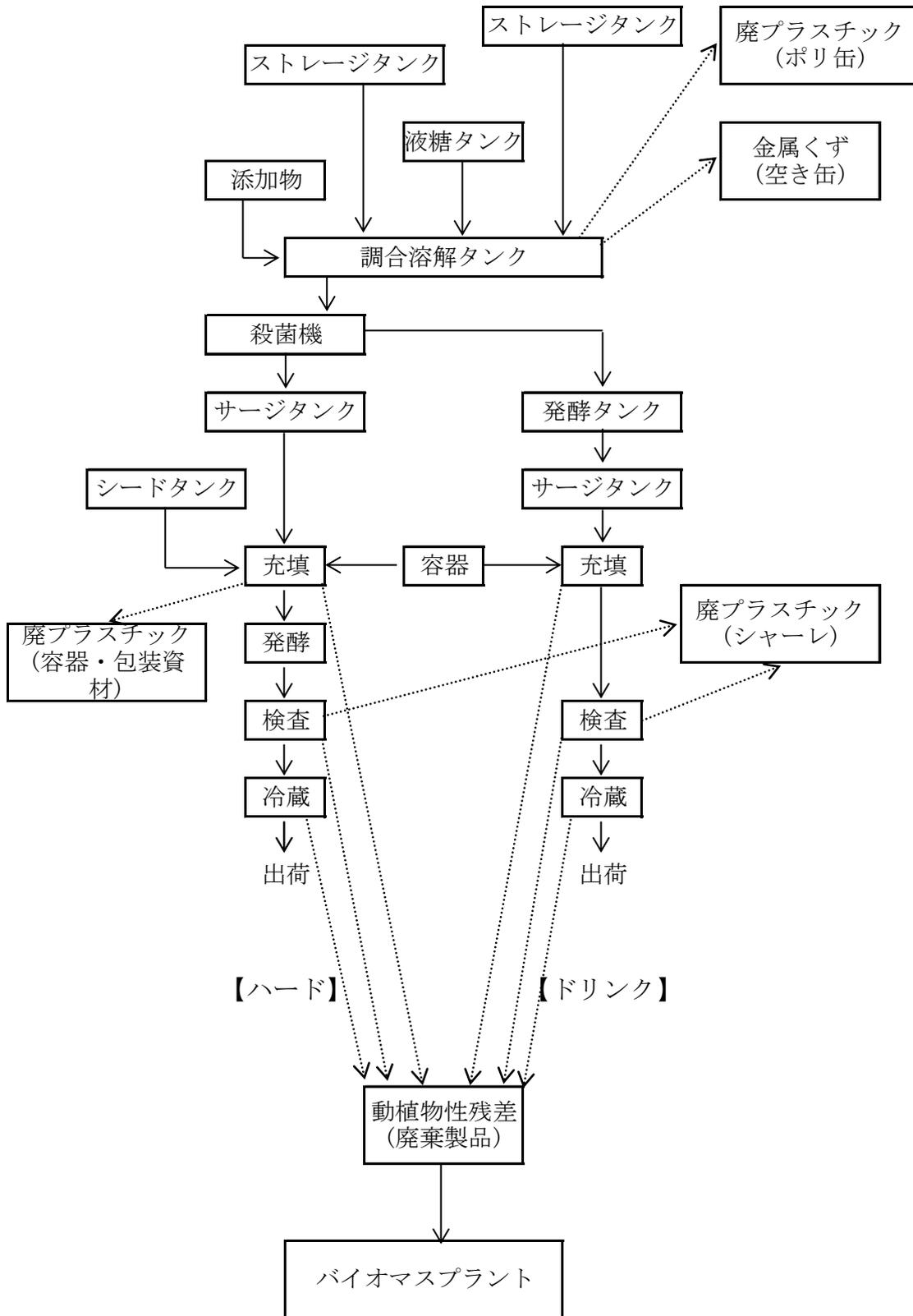


図3 発酵乳



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年 6月 24日

下関市長 殿

提出者

住 所 山口県下関市菊川町田部夢団地1番

氏 名 やまぐち県酪乳業株式会社

代表取締役社長 河口浩己

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 083-288-0500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	やまぐち県酪乳業株式会社
事業場の所在地	山口県下関市菊川町田部夢団地1番
事業の種類	牛乳・乳飲料・デザート製造、販売
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

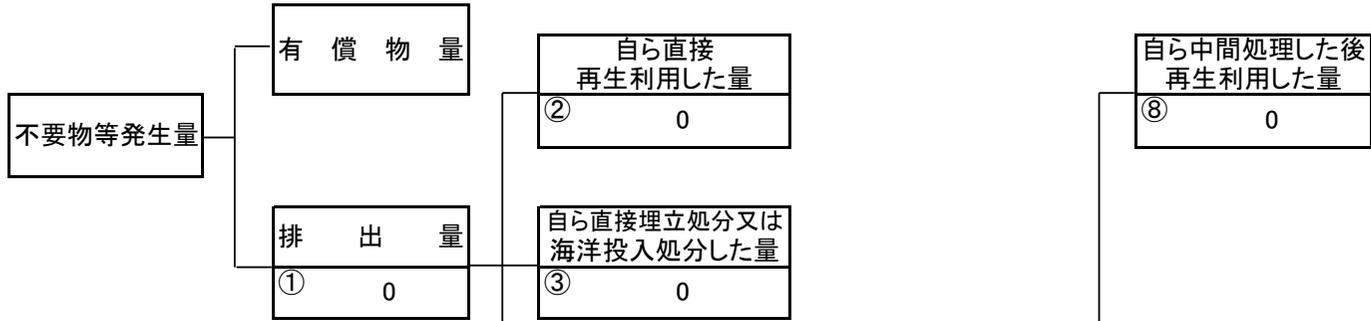
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	20989 t	全処理委託量	1129 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	37 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1092 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	18900 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

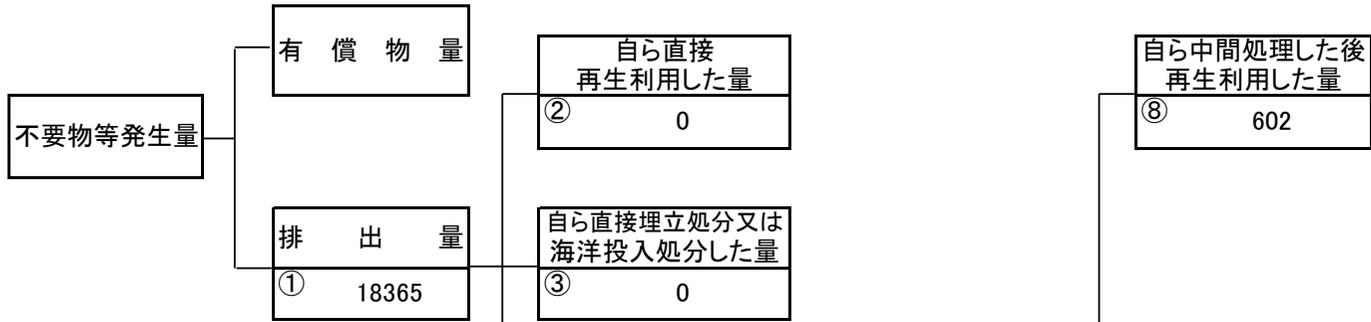
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 燃え殻)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 汚泥)

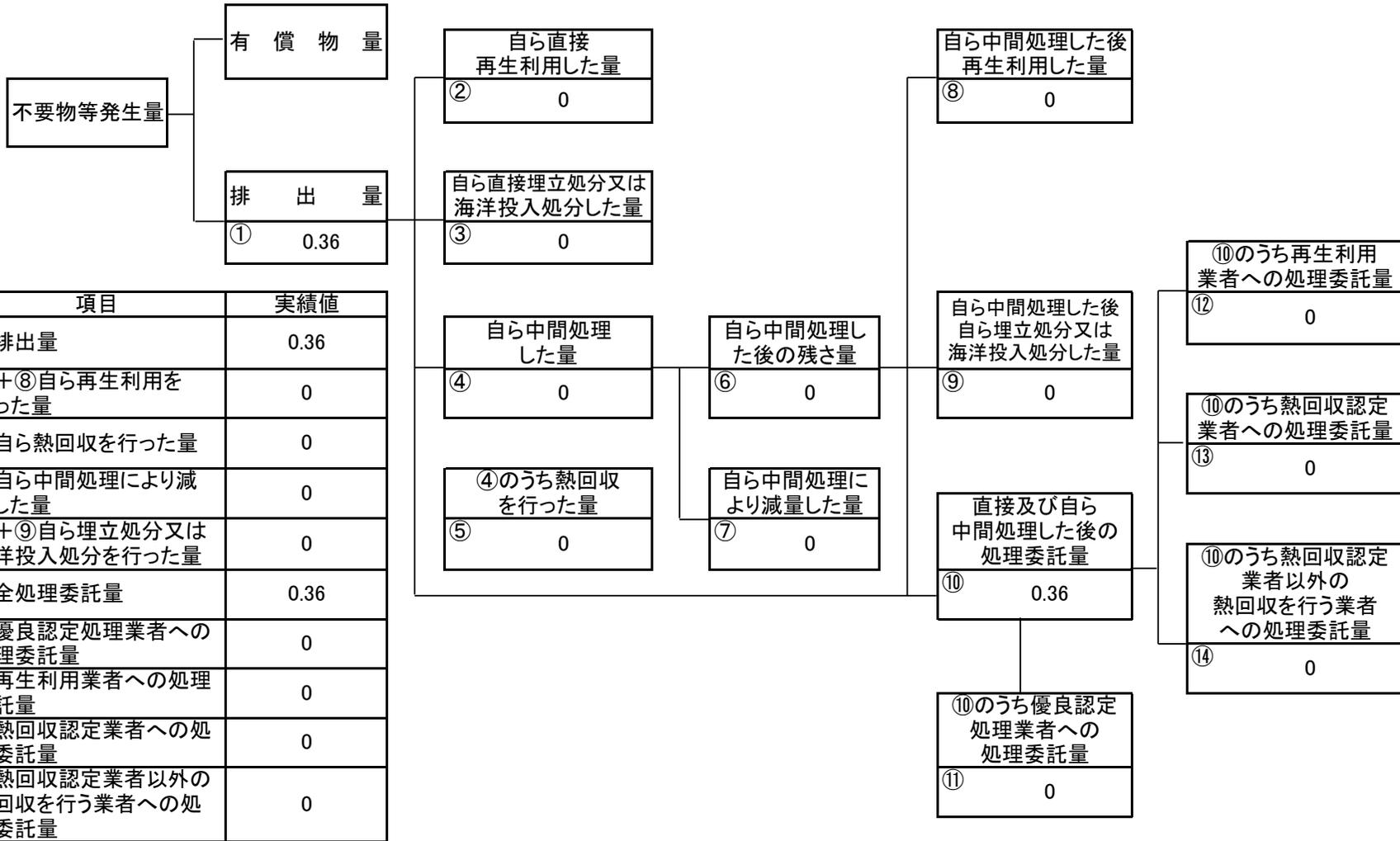


項目	実績値
①排出量	18365
②+⑧自ら再生利用を行った量	602
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	17384
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	651
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	651
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

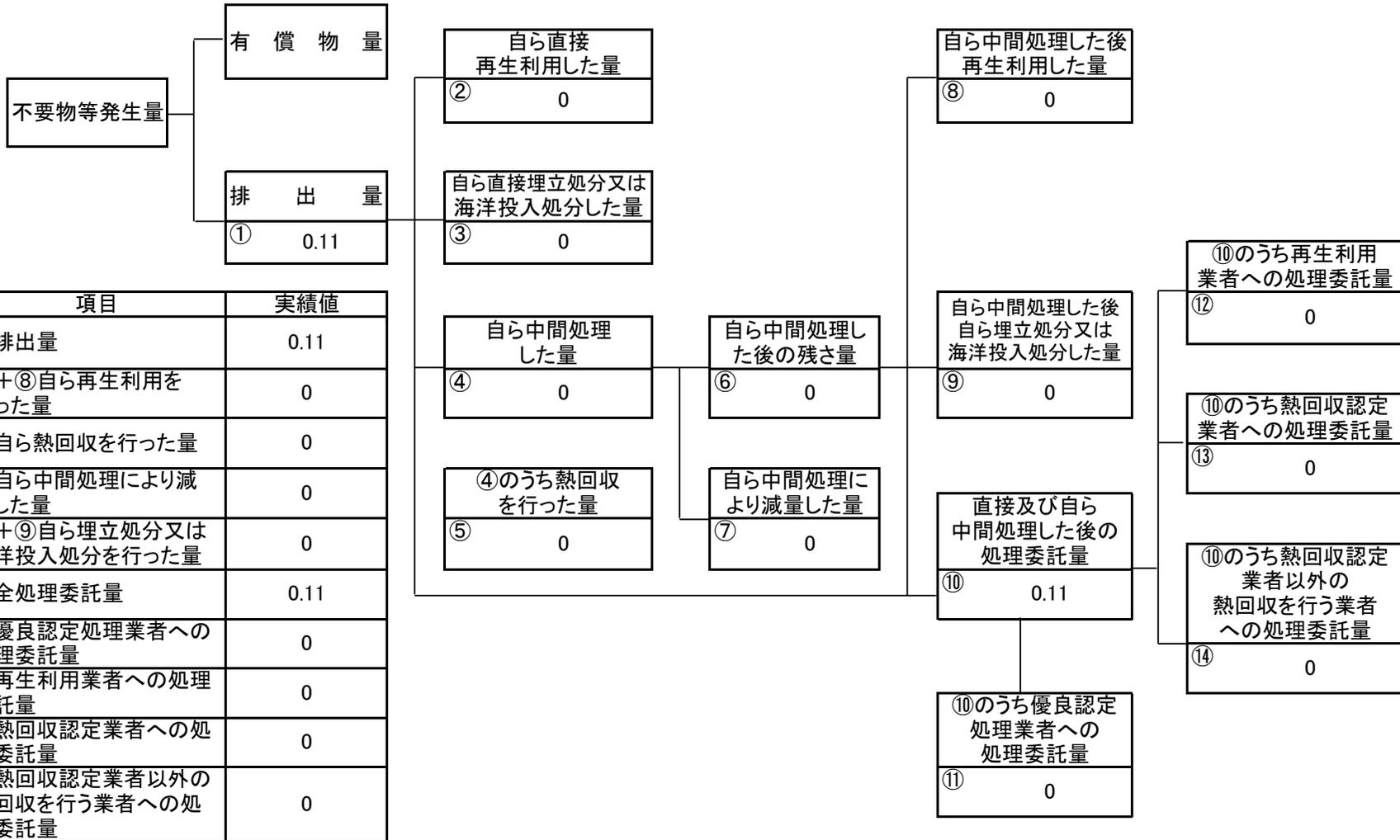
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 651
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭ 0

(続2面)

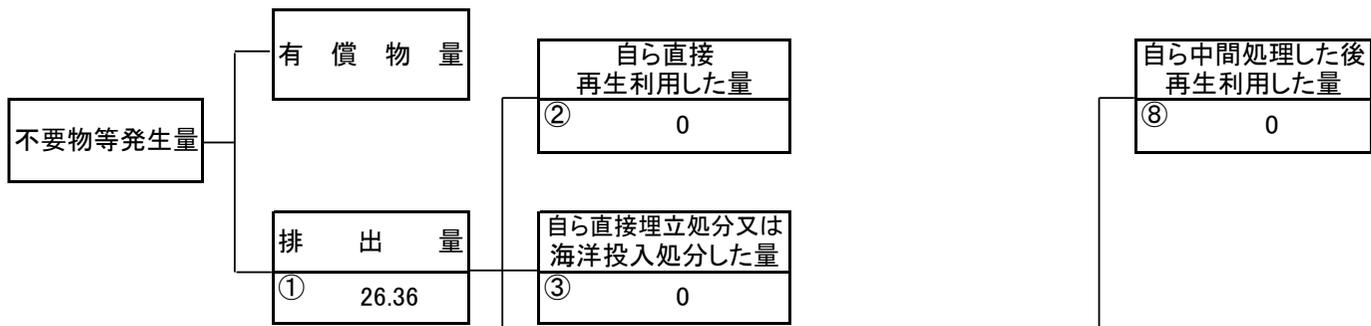
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃油)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃酸)



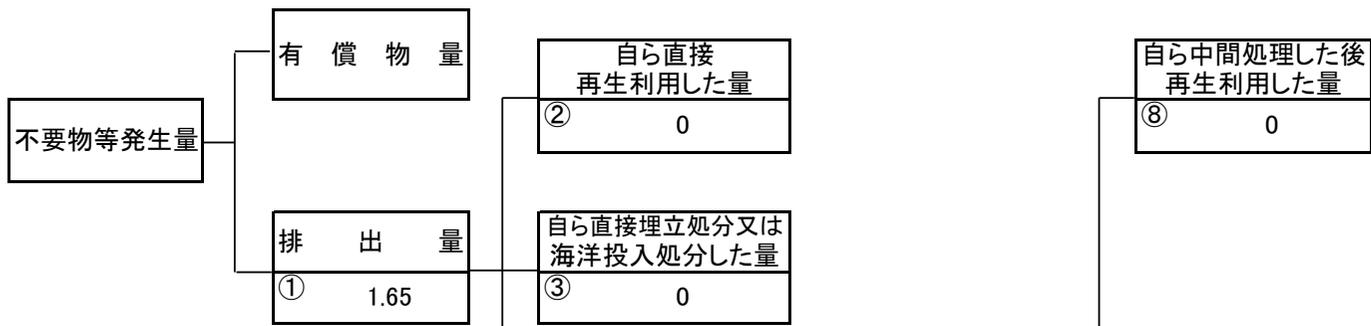
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)



項目	実績値
①排出量	26.36
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	26.36
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(続2面)

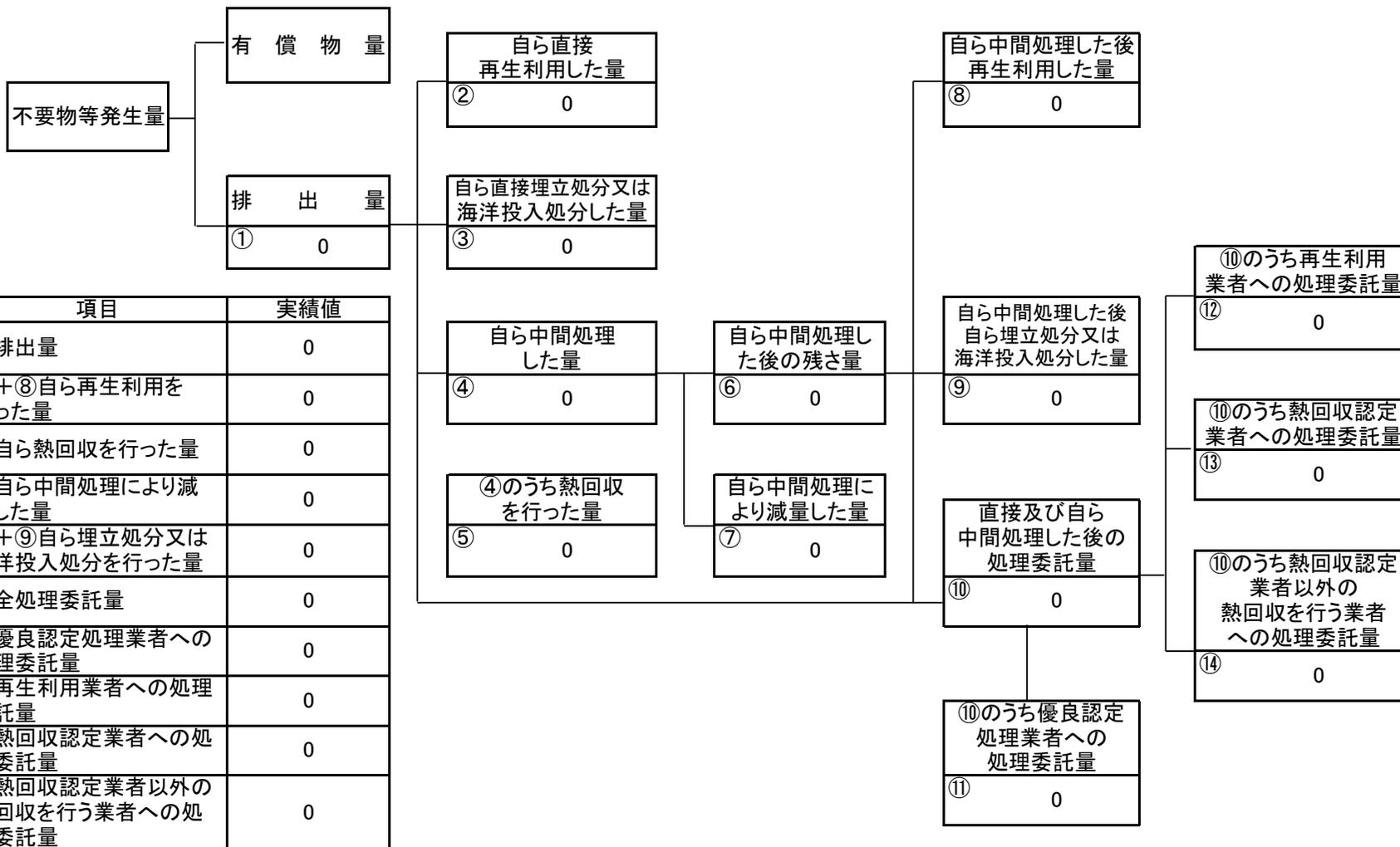
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 木くず)



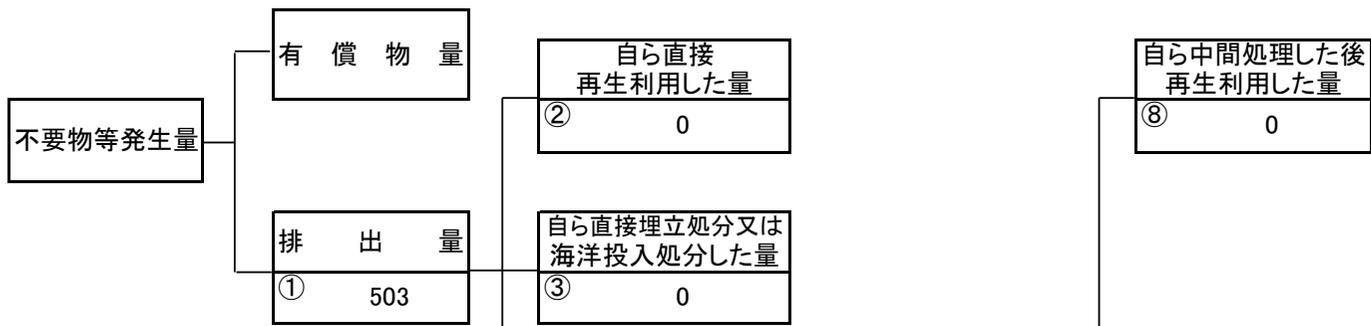
項目	実績値
①排出量	1.65
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.65
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(※2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 繊維くず)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 動植物性残さ)

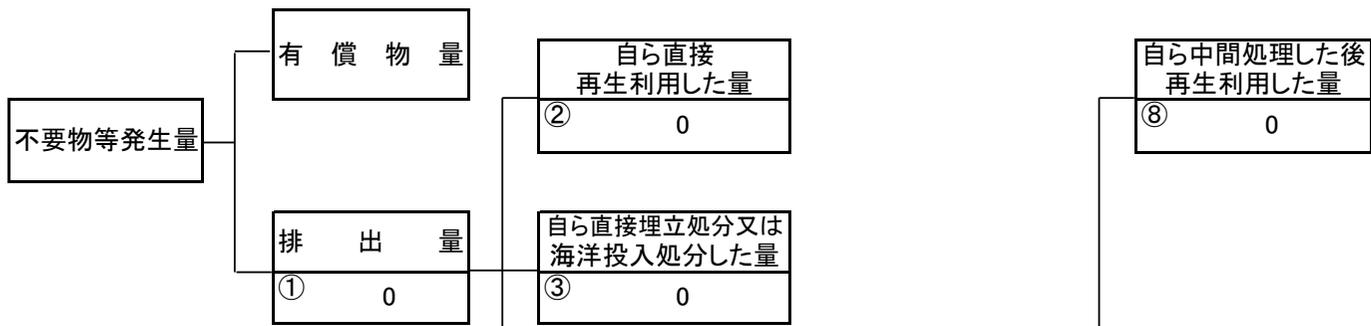


項目	実績値
①排出量	503
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	475
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	28
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	28
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

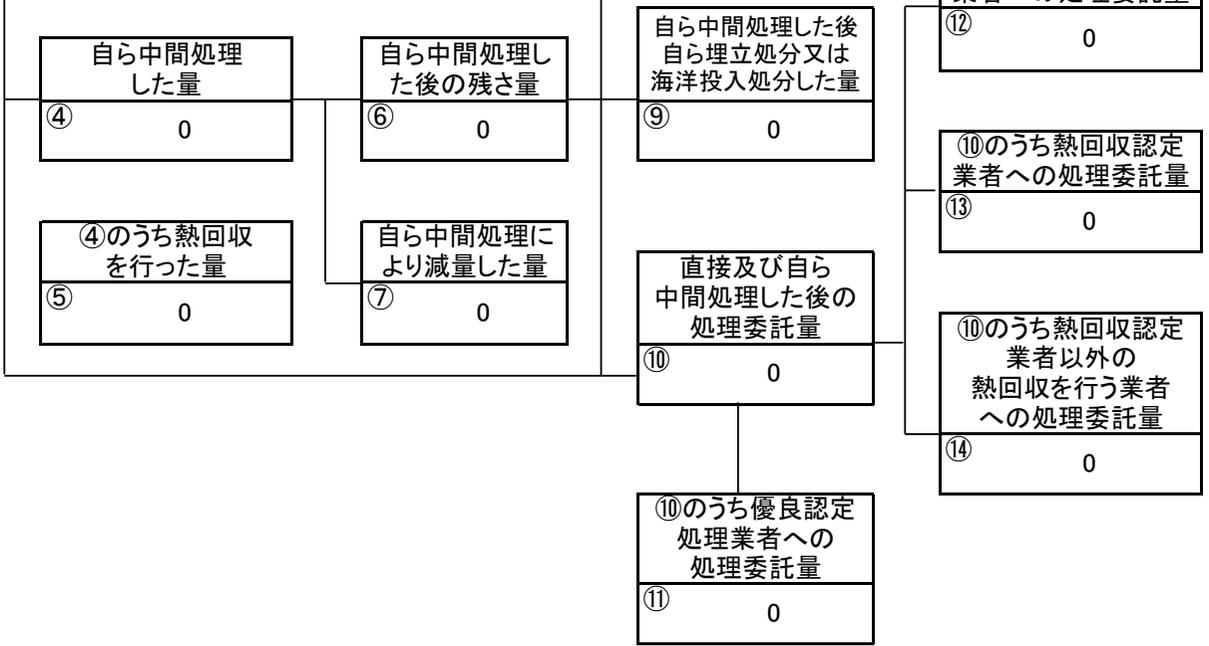
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 28
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭ 0

(※2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ゴムくず)

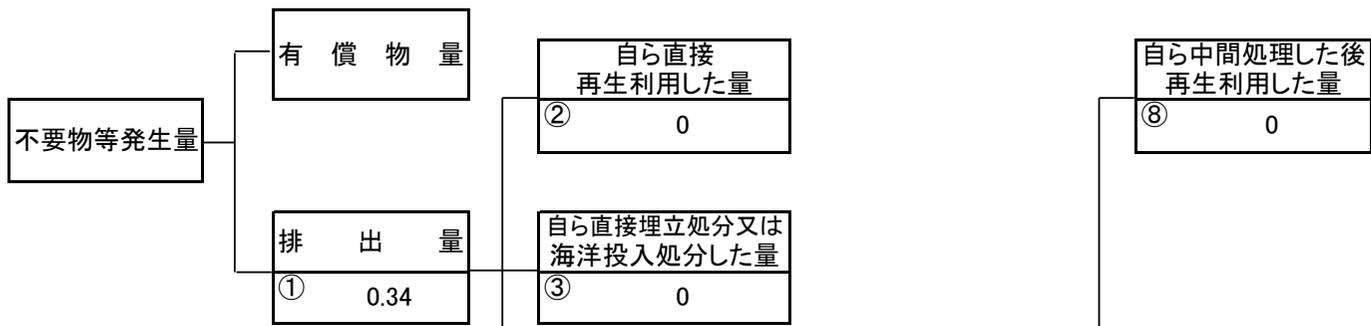


項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



(※2面)

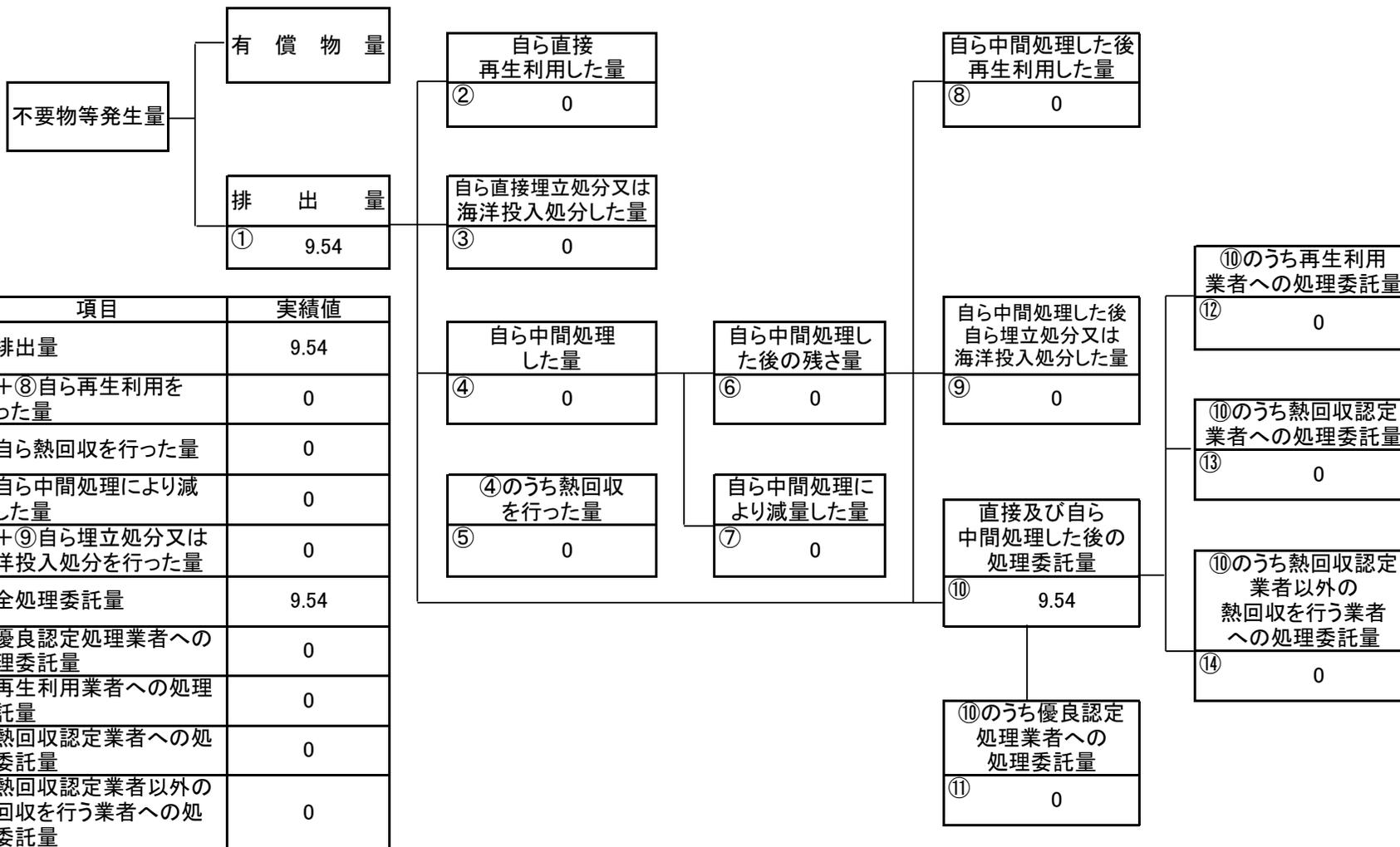
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 金属くず)



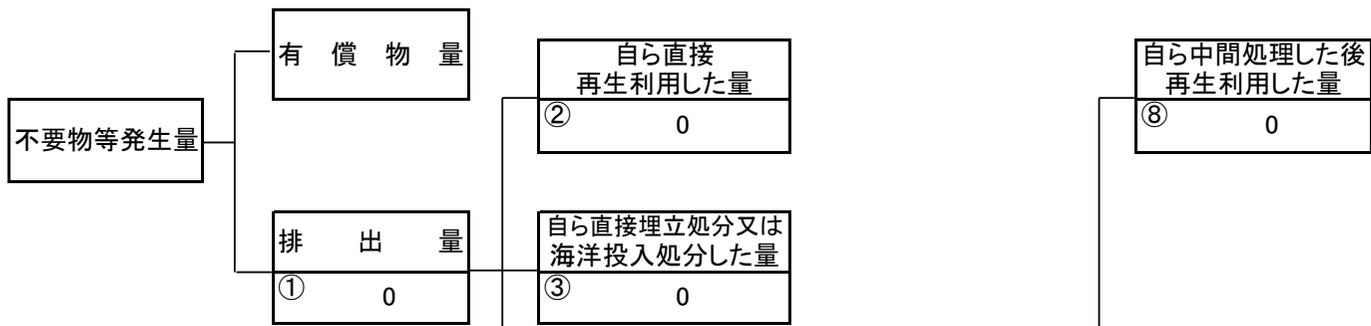
項目	実績値
①排出量	0.34
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.34
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(※2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず)

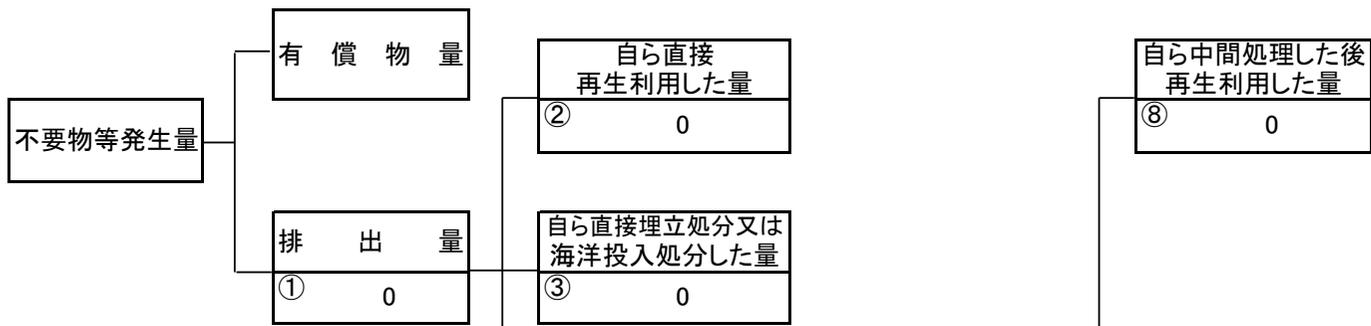


計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 鋳さい)

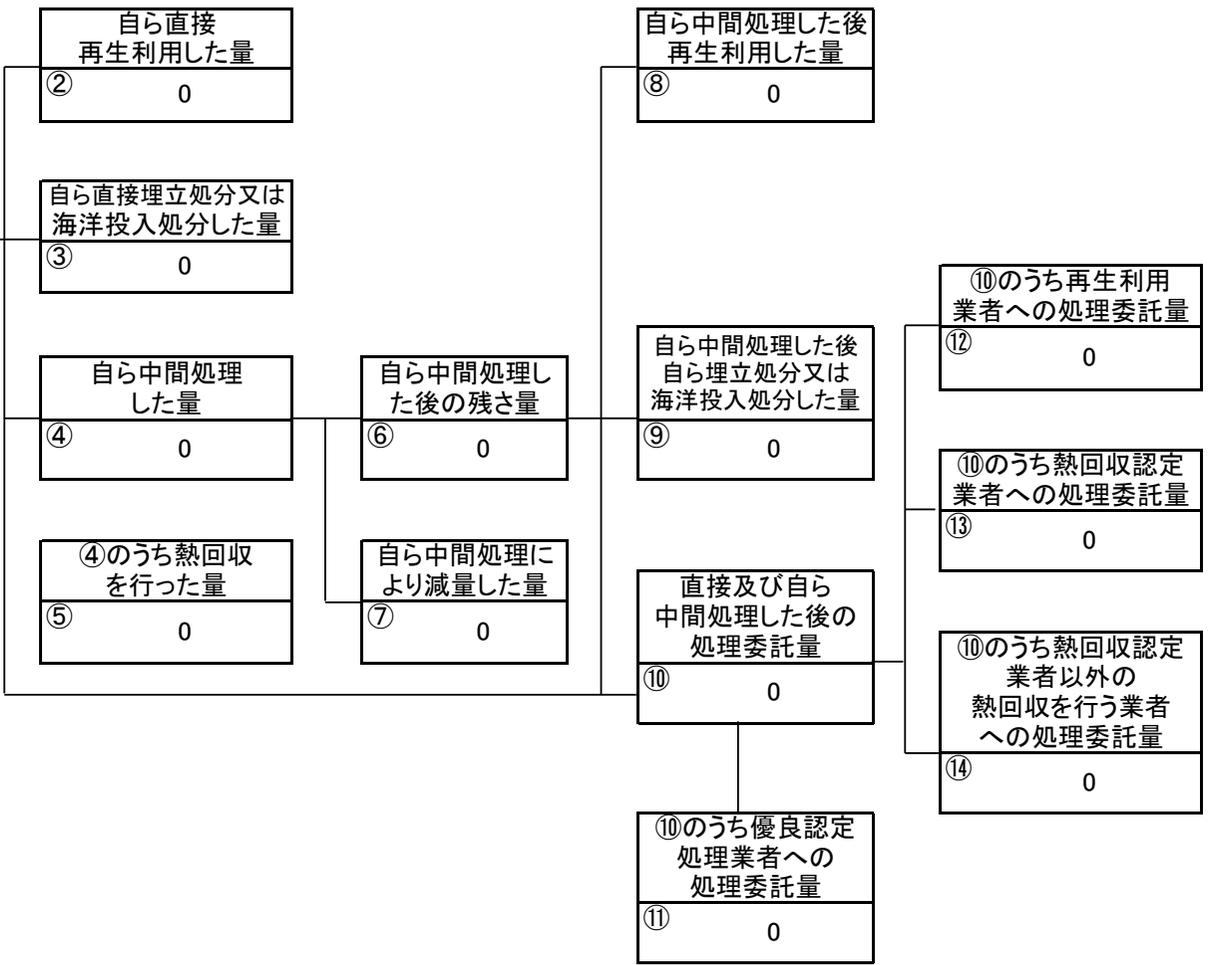


項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: がれき類)

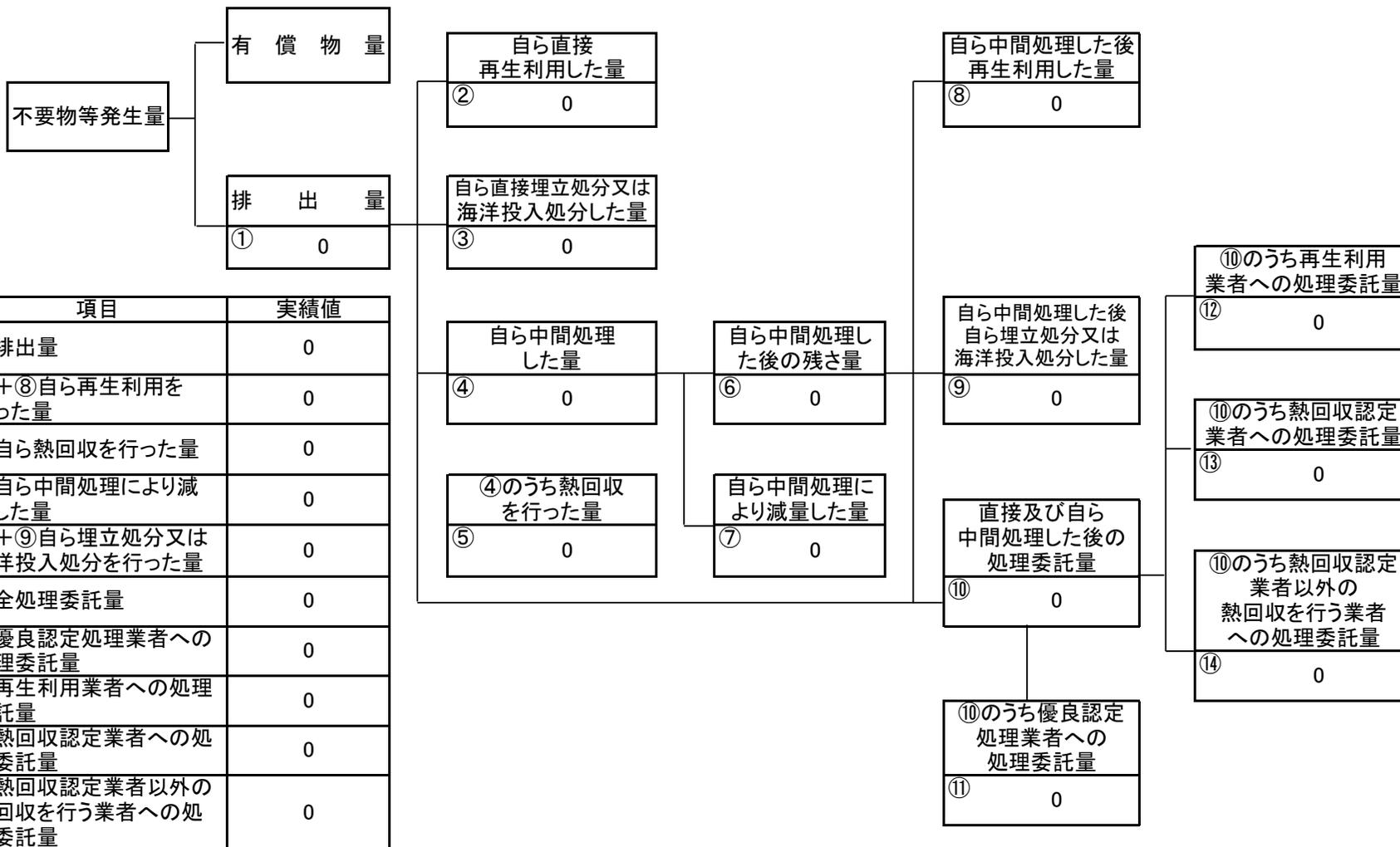


項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

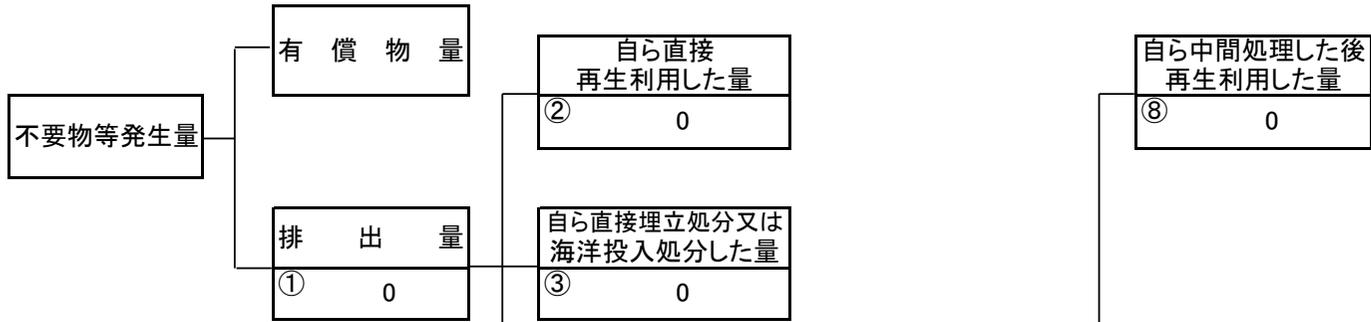


(第2面)

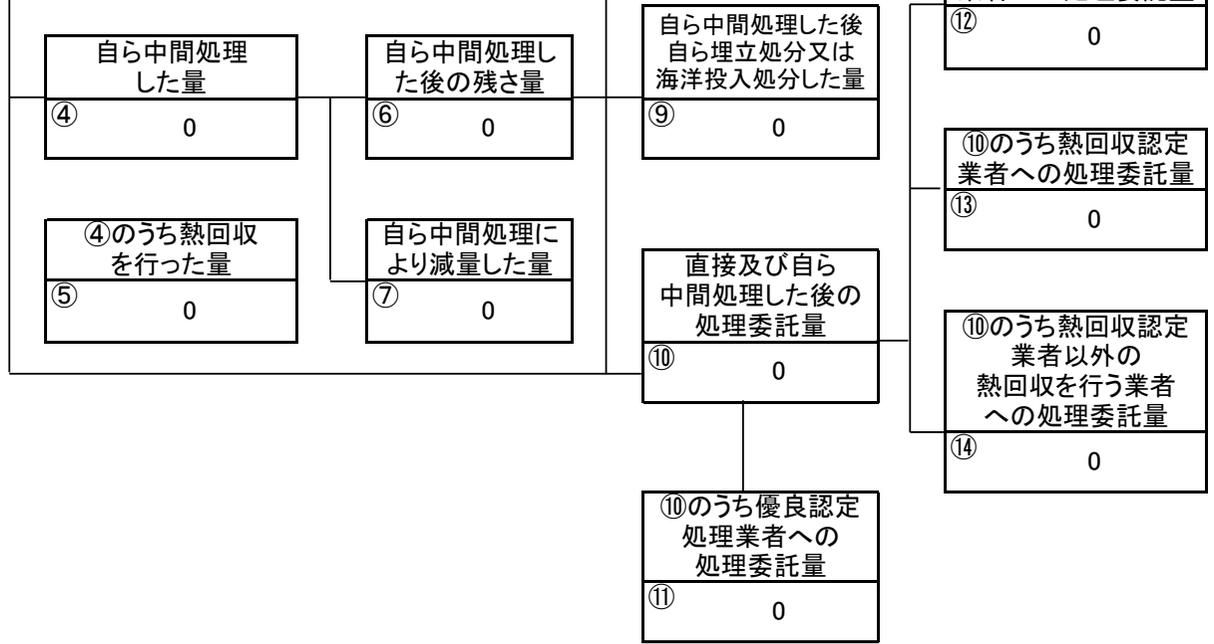
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 動物の死体)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 13号廃棄物)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



(第2面)

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。 □
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。